

2020年 5月 7日

全日本硬式空手道連盟役員 各位

(会長・会長代行・最高技術顧問・副会長ブロック長・副会長・技術顧問・理事長  
相談役・理事長代行・理事長代理・筆頭副理事長・参与・副理事長・常任理事・理事)

第2回世界硬式空手道選手権大会参加道場責任者 各位

一般社団法人全日本硬式空手道連盟代表理事 (佐伯幸生・日下秀夫・佐久間 清)

## 第2回世界硬式空手道選手権大会延期 (通知)

冠 省 全日本硬式空手道連盟へのご理解・ご協力をご感謝致しております。

さて、来る2020年11月20～22日東京武道館において開催予定の「第2回世界硬式空手道選手権大会」。一昨年より準備に着手、関係皆様方の協力により会場の手配・全日本大会及び全国選抜優勝大会入賞選手並びに各ブロック推薦選手の選出等、本年2月16日の全硬連総会時までは順調に推移していたところです。

しかし、中国が発生地と思われる新型コロナウイルス問題は、瞬く間に全世界中に拡散、今や世界最大の緊急テーマとして取り組まれていることはご案内のとおりであります。

日本中のみなさんが待ち焦がれていた、2020東京オリンピック・パラリンピックも残念ながら1年延期が決定しました。

しかし、わが国における新型コロナウイルス問題も、政府・地方公共団体、日本医学界超一流の先生方をはじめとする各界各層の方々による不眠不休による懸命な尽力にもかかわらず、国の緊急事態宣言下、混迷かつ先々不透明な状況にあります。

11月開催予定の世界大会の開催・延期・中止決定のタイムリミットは、言わずもがな、外国や遠隔地より参加される選手、関係皆様の交通手段及び宿泊等のことを考えると、遅くとも、大会6ヶ月前の5月中に意思決定が必要であることは論を待たないところです。

- ①全硬連内の世界大会実行委員会30名中、27名が延期意思表示があること。
- ②国際硬式空手道連盟より、延期の意思表示があり、全硬連に判断が一任されたこと。
- ③上記①・②を踏まえ、全硬連4役会(会長・会長代行・副会長＝ブロック長・理事長)が、全硬連規約第7条第2項火急を要する事案の規定に基づき、電話及びメール等で慎重に打合せ、検討、審議。その結果、4役会の全会一致で延期を決定(5月7日付)したものである。
- ④国際硬式空手道連盟にその旨の報告。その後、全硬連役員及び関係者あて遺漏なき周知徹底。

敬 白

### 「特記事項」

- ・4月30日までに提出された第2回世界大会参加申込書は、優先出場資格保有者となる。
- ・今回の参加費は全額返済する(納入済み者に、世界大会事務局より連絡送付します)。
- ・延期決定後の11月20～22日の東京武道館の利用方法は、新型コロナウイルス問題の動向、収束状況もふまえ、佐久間理事長のもと、理事長特命担当(山脇・柳口・今井・高内一社事務局長)が、全日本大会の開催等 最善の方法を模索検討したいと考えております。

企画書(案)がまとまり次第、すみやかに4役会で十分審議を行い、決定します。

検討は、新型コロナウイルス問題の完全収束が前提のため、全てが中止の場合もあります。

- 意見・問合せは、一般社団法人全日本硬式空手道連盟 専務理事 山脇研吾あて

090-3140-5845

[kengo149214921492@docomo.ne.jp](mailto:kengo149214921492@docomo.ne.jp)